

学 年	全学年	授業予定	4月 第2週
-----	-----	------	--------

主題名	公正、公平、社会正義	
資料名 (出典)	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～ (日本赤十字社 新型コロナウイルス感染症対策本部)	主題設定理由 世界中が新型コロナウイルスの脅威にさらされている今、突然の休校で昨年度を終えることになった生徒たちは、病気に感染することに対してはもちろん、これからどうなっていくのか分からないことへの不安を抱えている。また、市内でも中学生の感染者が出たことで、偏見や差別が生まれかねない状況でもある。こんな時だからこそ、正しい判断力をもって行動できるよう、全ての人が安定した心で生活できる社会のために、何ができるのかを真剣に考えさせる機会を作りたいと考えた。
本時のねらい	日赤の感染症対策本部が作成した資料を見て、コロナウイルスがもたらす3つの感染症「病気」「不安」「差別」とは何かを知り、それらが巻き起こす負のスパイラルを止めるために、自分ができることは何かを考える。	
展 開 の 大 要		
区 分	教師の発問、活動：(○)，予想される生徒の活動：(・)	指導上の留意点
導 入	○【板書】「2,384名(57名)」さて何の数字でしょう。 ・コロナだ。( )は死んだ人・・・ ・日本の数だよ。イタリアとかアメリカとかはもっとすごい。	・4月2日7時現在の国内コロナ感染者数(死亡者数)を示す。ここから急増しているので、できるだけ最新の数字を示す。
展 開	展 開 I ○新型コロナウイルスによって、世界中が大変なことになっています。静岡市内でも感染者が出たのはみんなもニュース等で知っていますね。今日は、みんなでこの大変な状況をどうしたら良いかを考えていきましょう。(ワークシートを配布する。)さて、コロナの色々なニュースを聞いて、みんなはどんな気持ちになっているだろう。一番近いものに○をつけ、その理由を書いてみてください。  1 怖い 2 不安 3 悲しい 4 腹が立つ 5 苦しい 6 その他( )	・何番を選んだのか、挙手をさせて生徒の心の状況をつかみたい。 ・理由については、言える範囲で言わせる。(後で、ワークシートの内容を見て個々の状況をつかむ。) ・後半の時間確保のため、さらっと。
	展 開 II ○「日本赤十字社」って知ってる？世界中で苦しんでいる人を支援する活動をしているところです。「献血」とか、中町にある日赤病院とか、知ってるよね。今から、諏訪赤十字病院の臨床心理士である森光先生が作ったコロナウイルスについての資料をみんなに見せます。(1～10まで)を説明。  ○コロナには3つの「感染症」があるということが分かりましたね。  ○さあこれらの感染症を防ぐためにどんな工夫ができるでしょう。①はもうみんながやっていることだよ。何？ ・うがい、手洗い、不要不急の外出はしない 等  ○②③は、少し考えてみよう。 ・ワークシートに書く。  ○②と③については、班ごとに話し合ってみよう。 班ごと発表。  ○資料(11～18)を見せて、プロが教えてくれる工夫を説明する。 「自分を見つめる」「普段と変わらぬ生活」「安心できる人とのつながり」「確かな情報」「感謝の気持ち」	・紙芝居のように、TVに1枚ずつ映しながら、1～10Pまで説明する。  ・【板書】①「病気」②「不安」③「差別」  ・生徒たちから、「相手を思いやる」態度や、「もし自分だったら」と考える気持ちが大切だという意見が出てくることに期待したい。  ・生徒たちが気づけないような点について、しっかり抑える。
終 末	○長い戦いになりそうだけれど、今日考えたことをもとにして、みんなで乗り越えていきたいね。今日の授業の感想を書きましょう。	